

麦



埼玉親の会「麦」発行
2021年10月28日 152号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>

9月全体例会 講演会 さいたま市出前講座「成人期における発達障害」

日時：2021/9/30(木) 10:30～12:00

主催：埼玉親の会「麦」 オンライン講演会 (Zoom)

講師：さいたま市発達障害者支援センター 主査 諸星健次氏

同

心理判定員 田辺龍一氏



コロナ禍により、Zoomで行われました。初めに田辺氏が、『世間の認知に関する発達障害の現状と、成人期に本人や周囲が注意するとよいポイント』について、次に諸星氏が、『成人期の自立・就労に向けて』というテーマで、それぞれデータ等に基づいた情報提供や解説をして下さいました。

今回私は、息子が大学生になった事もあり受講しました。講演後には受講者からの質問も多く寄せられて充実した内容でしたが、敢えて絞って挙げさせて頂くなら私が印象に残ったのは次の2つでしょうか。1つ目は、『成人期以前は、できるなら少しでも特性や問題点の改善に取り組む事が必要、成人期以降は、特性を踏まえて社会とどうつながるかが大切。』という考え方で、2つ目は、受講者からの質問に答える形での、「(就労に関して) うまくいかない時には、親だけの意思で物事を進めている場合もあり、うまくいくのは、子供の意思に任せている中で偶然のきっかけで。という事が多いようにも思われる。そして、その偶然が生み出されるかどうか…という環境作りが大切なのでは。」というご提言です。

温かい学びの時間と日々の生活を振り返るきっかけを頂きました。ありがとうございました。(M・F)

初めてのオンライン講演会開催

コロナ禍でも講演会を開催できないかと、さいたま市出前講座を利用してオンライン講演会を考えました。そこで、さいたま市障害者総合支援センター内の発達障害者支援センターに講師をお願いしたところ、ご快諾いただきました。しかし、Zoomの扱いに不慣れな役員が多く、会場開催とは異なる準備に、スタッフ役員は戸惑ってしまいました。綿密に準備したつもりでも、当日は手間取ることがあり、講師の先生方をはじめ、参加者皆様にもご迷惑をお掛けしたのではないのでしょうか？

講師の先生方、参加者の皆様、当日はありがとうございました。私共の不幸で不快な思いをさせてしまったら、申し訳ございませんでした。今回の反省を活かし、皆様に有益な企画を考えたいと思います。今後も「麦」活動にご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。 9月講演会スタッフ役員一同

全国LD親の会

全国LD親の会 第14回総会

6/26(土) 12:30～14:00 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

会場には理事長他会場に集まった方とZoomを利用して行われました。加盟する39会は出席参加2会。他会は事前に議決権行使書または委任状を提出し、当日は代表者がオブザーバー参加しました。

議案の、2020年度事業報告、2020年度決算、2021年度役員選任、3件全てが満場一致で可決承認されました。次に、2021年度予算と事業計画の説明がありました。その後、オブザーバー参加した人を含め全員が一言挨拶をして和やかに終了しました。なお、役員選任で当会のYさんが理事に就任しました。

総会終了後、有志によりオンライン懇親会も行われました。

(M・K)

全国 LD 親の会 第 20 回公開フォーラム



共催 大阪 LD 親の会おたふく会（創立 30 周年記念企画）

「発達障害児の育ちと学びを支える」～家庭と教育と福祉の連携・協働に必要なこと～

6/27（日）10：20～16：30

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）からライブ中継配信

午前に基調講演があり、午後にミニ講演 4 つとパネルディスカッションが行われ、パネルディスカッションを除く講演（事前に収録されたもの）が参加者に 6/28～7/19 にビデオ配信されました。「麦」からは、私を含め 3 名が参加しました。

プログラムと内容を簡単にご紹介します。

基調講演「多様なニーズのある子どもの理解と支援について」～効果的な関係機関との連携・協働をめざして～

講師：小田浩伸氏（大阪大谷大学教育学部長・特別支援教育実践研究センター長）

……学校には多様なニーズのある子どもたちがいて、一人ひとりのニーズに応じた支援が必要。そのためには効果的な関係機関の連携と協働が重要。就学前から就労まで切れ目のない支援を目指すことが必要。

ミニ講演 ○「個別の教育支援を本気で支える多職種協働へ」～家庭と学校生活で守り育むライフスキルと作業療法～ 講師：辻薫氏（大阪人間科学大学保健医療学部教授・特別支援教育士 SV）

……学校において特別支援教育体制の整備が進んでいるが、ソーシャルワーカーや作業療法士などの専門家との連携はまだまだ少ない。多職種が連携してライフスキルの向上を目指したい。

○「特別な教育ニーズについて 学校教育と言語聴覚士の協働の在り方」講師：北村あかり氏（言語聴覚士・特別支援教育士）

……発達の躓きの理解、解決に言語聴覚士ができることは多くある。健診への参加や教育施設で相談支援などに参加するなど協働を提案。

○「特別支援教育について、学校現場の現状と対応」講師：庄司真人氏（臨床心理士・学校心理士・特別支援教育士・法華寺住職）

……保護者と教員と他の支援者と、本人にとってどんな支援が最も適しているかをお互いへの「ねぎらい」の気持ちをもってかわり、「本人の達成感」のために積み重ねなければいけない。

○「連続性のある支援を目指して」～教育と福祉をつなぐ～ 講師：黒田尚美氏（スクールソーシャルワーカー・社会福祉士・特別支援教育士・公認心理師）

……スクールソーシャルワーカーとして「子どもの最善の利益を守ること」を大切に、子ども・家庭を尊重して他機関と連携して切れ目のない支援をする。

パネルディスカッション 「福祉医療専門職からの提言」

ファシリテーター：松永眞実氏（桃山学院教育大学人間教育学部教授）パネリスト：上記ミニ講演講師 4 名

……支援計画は制度としてはあるが、現状は専門家として有効にかかわれていないようだ。支援計画に親がうまく入れないか。支援をうまく活かすため保護者支援を。保護者と教員との信頼関係を作るため、保護者を支えることが重要。学校にも保護者にも、専門家の存在を理解してもらい連携を図る役割もしたい。支援の連携と継続・申し送りには個人情報保護の問題もある。などの意見があった。また松久氏の大学で入学時に全ての学生にアンケートを行い、困り感がありそうな学生を予測して対応することで退学者を減らせた、というお話もあった。

感想：様々な専門分野の方のお話を伺い、多くの方の見方が支援に活かされることの重要性を実感しましたが、現実ではまだまだ活かされていない模様。学校では教員が多忙のため連携のため時間がとりにくい、保護者との意思の疎通も十分でなく、支援計画に保護者が入りにくいという実態も伺いました。発達に心配のある子どもたちが、その力を十分伸ばすことができるよう、今日伺ったような連携が多くの子どもたちに実現することを願います。

(M・K)

関東・東北ブロック会議



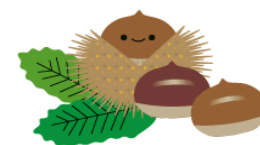
7/11（日）Zoom を利用して行われました。

議題は、・評議員会報告・総会の報告（6/26 実施）や今年度の活動の予定等 ・日本 LD 学会第 30 回大会（12/11～12）の親の会シンポジウムについて。〔すべてオンラインで実施。家族支援がテーマ。青年の集いをオンラインで行う〕 ・本ブロックから選出する理事と評議員の選出方法について ・2022 年度の総会と公開フォーラムについて。〔どちらも埼玉県で開催。6/12（日）に総会。公開フォーラムは秋の予定で、関東・東北ブロックが担当し、「麦」が開催地元の会として主な準備に携わる。テーマや開催方法等について検討していく〕 などがありました。その後ブロック各会からの活動報告を行いました。どちらの会も、コロナ感染対策のためリモートでの活動が増えているようですが、できれば対面で行えるよう模索していると感じました。（M・K）



要望書に関する活動

令和 4 年度発達障害関係予算要望事項の作成



今年度も、埼玉県とさいたま市宛てに、令和 4 年度発達障害関係予算要望事項を作成しました。

昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響により、会員の皆様からご意見を伺うおしゃべり会も6/22に一回しかもてななかったのが残念でした。かわりに、年度初めの活動へのアンケートで「行政に要望すること」の欄をもうけ、連絡網でも、意見募集をしました。ご意見をお寄せくださった皆様ありがとうございました。担当役員はそれらのご意見を参考にして、対面での検討会や zoom での検討会を行い、メールの交換でまとめました。

予算要望事項の作成は、発達障害のある方や家族がよりよく生きていくための声を行政に伝える「麦」の大切な活動の一つと考えています。今後も皆様のご協力をお願いいたします。（C・N）

埼玉県令和 4 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

今年度も年度の初めに埼玉県福祉部障害者福祉推進課長から9/7に「県との話し合い」の通知をいただきました。話し合いに出席するにあたって令和4年度予算要望事項を7/27に埼玉県知事宛に提出しました。

昨年度の口頭回答の場での勉強不足を感じたことから、今年度はおしゃべり会や、アンケート、連絡網でいただいた意見をふまえて、「第6期埼玉県障害者支援計画」「厚生労働省 令和3年度発達障害者支援施策」「文部科学省 発達障害関連施策 令和3年度予算について」、全国 LD 親の会発行の「LD 等の発達障害がある高校生の実態調査報告書Ⅲ」やその他いろいろな支援機関のホームページを参考にして予算要望事項を作成しました。「障害福祉」「医療」「教育」「就労」とそれぞれの機関が連携をとっての本人と家族の支援をお願いしました。

ところが、8月からのコロナの感染拡大が9月になっても収まりそうにないために、対面での話し合いの場は中止となりました。「口頭回答希望」とした項目についてもすべて文書回答で、9/8にいただきました。

話し合いの場がなくなったのは残念でしたが、県の担当課からは誠実な回答がいただけたと思っています。回答をいただいた担当課の皆様ありがとうございました。私たちの要望が今後の行政に活かされることを願います。また、各課に回答を依頼していただいた障害者福祉推進課総務・企画・団体担当の皆様にご感謝申し上げます。

要望事項と回答は「麦」ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。（C・N）

☞<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2021pref.saitama.pdf>

さいたま市令和 4 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

7/19（月）さいたま市長あてに令和 4 年度予算要望事項を提出しました。これに伴い、補足説明のために関係課の障害政策課ノーマライゼーション推進係と教育委員会特別支援教育室に役員 2 名が訪問しました。

ほぼすべての項目についてお話することができました。

特に共通項目の『切れ目のない支援と「トライアングル」プロジェクト体制の充実』として、相談窓口の一元化や、放課後等デイサービスと学校との連携についてなどを説明しました。特別支援教育室では、可能な限り保護者が支援計画作成に参画できるようにお願いしました。

また、『発達障害者への差別及び偏見の解消と民間に対する合理的配慮義務化に伴う具体策の提供』として、3 年ほど後に施行される合理的配慮の義務化（努力目標から法的義務になる）に向けて、学校や事業所等へ、対応の好事例などの情報提供をお願いしました。平等と思われる対応と、合理的配慮をした対応、ユニバーサルな対応、3 つの違いを絵に著したものを利用して説明しました。障害政策課では、発達障害者を公的機関で採用し、合理的配慮を蓄積することを提案しました。

お忙しいところ担当課の皆様には熱心に耳を傾けてくださり、誠にありがとうございました。

なお、10/7（木）に本要望事項の文書回答をさいたま市から頂きました。さいたま市関係各課の皆様改めて御礼申し上げます。

さいたま市令和 4 年度発達障害関係予算要望事項に関する回答

☞<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2021.city.saitama.pdf>

ご不明な点やその他お問合せは、役員へお願いします。

(M・K)

※毎年行われていた埼玉県議会公明党議員団との意見交換会も、8/4（水）に予定していましたが、コロナ感染拡大のために中止となりました。残念でしたが、例年どおり議員団団長あてに埼玉県宛てと同様の要望事項を提出しました。

全体おしゃべり会

対面でのおしゃべり会

浦和コミュニティセンター第 13 集会室

会員 8 名、見学参加 3 名 計 11 名

6/22（火）、対面でのおしゃべり会に参加させていただきました。

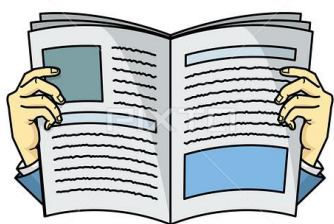
大学生の息子がいますが、コロナ禍での大学生活、就職活動のことなど、いろいろと悩みごとがありましたが、皆様のご意見を伺うことができました。

とても参考になりました。ありがとうございました。（S・I）



Zoom でのおしゃべり会

8/28（土）、Zoom によるオンラインのおしゃべり会が催されました。正会員にお願いした活動アンケートから、「土日に Zoom のおしゃべり会を」のご意見にお応えした企画でした。午前の部（10 時～12 時）6 名、午後の部（13 時～15 時）4 名の方々にご参加いただきました。自宅からの参加はリラックス効果があるのか、皆さん積極的にお話して下さいました。和気あいあいとした中、あっという間の 2 時間でした。おしゃべり会をもっと企画して欲しいというご意見もいただきました。ありがとうございました。（Y・S）



機関紙発送 感謝 ♥

6月22日（火）浦和コミュニティセンターで発送役員 2 名とその他役員 4 名の計 6 名で機関紙 6 月号を発送いたしました。コロナの影響もあり、機関紙はホームページに掲載し、最低限の印刷、郵送のため役員のみでの作業でした。発送のお手伝いをありがとうございました。（M・A）

「子どもの受診待ち問題の解消に向けて」

5/31（月）、埼玉県発達障害総合支援センターからのお声かけにより、県内の中核発達支援センターの受診待ちが長いことに対して、「麦」役員3名がオンライン（Zoom）で、保護者の立場で発言させていただきました。受診待ち問題は、他病院にもあることです。私達は、地域の保健所など他にも保護者の不安に寄り添う場があることや、相談・支援への道筋を分かり易くすることで、病院への集中が緩和されるのではないかとお話ししました。また、中核発達支援センターについては、まずは民間の医療機関の受診を勧め、その後、困難事例を中核発達支援センターが担当することにより、受診待ちが緩和されるのではないかなど提案させていただきました。私達の意見が役立つかわかりませんが、このような機会を頂けたことに感謝いたします。（Y・S）



埼玉県立総合教育センター主催 特別支援学校5年経験者研修 保護者の心情に配慮した支援の在り方

7/2（金）、埼玉県立総合教育センター主催の令和3年度特別支援学校5年経験者研修で、「麦」事務局のYが「保護者の心情に配慮した支援の在り方」というテーマで、講演させていただきました。対象者は、埼玉県公立特別支援学校の教職経験5年目の教師です。私は障害のある子を持つ保護者の立場で、「障害児を育てる親のイメージ」「保護者の心情理解」「相談支援のポイント」「学校に求める事」等をご説明いたしました。

保護者と教師の願いには、違いがありズレが生じます。また、教師は子どもの問題に目を奪われがちですが、子どもより保護者の方が深刻な問題を抱えている場合があります。願いも問題も一人一人違いはありますが、保護者と教師が信頼関係を築き、問題解決に向けて協力し合うことが大切です。



センターの皆様、研修に参加された皆様、当日はお世話になりました。このような機会を頂けたことに、感謝申し上げます。皆様がそれぞれの現場でご活躍されますことを、心からお祈りしております。（H・Y）



令和3年度第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

7/5（月）Zoomを利用して行われました。

この協議会の委員には、支援機関など様々な形で発達障害児・者にかかわってくださる方がいらっしゃいます。議題は（1）令和2年度発達障害者支援連絡協議会の内容について情報共有、

（2）発達障害児者支援に係る支援者の支援及び育成について

今年度は、支援者の支援を目的に、事例集と資源マップ両方の役割を持つような資料を作成することを目指し、内容や体裁などを検討していくことになりました。（M・K）



令和3年度公開講座「発達障害の基礎理解」（オンライン）

埼玉県とさいたま市合同で、支援者向けに8/17（火）～8/31（火）にビデオ配信されました。麦から2名がさいたま市障害者相談員として視聴しました。

講座は3つでした。①発達障害（神経発達症）の基礎理解-医学的見地から- ②診断・療育の現場から感じた早期発見、支援の必要性について ③こどもと親への支援の実際

発達障害についての新しい情報を得ることができました。また子どもが示す様子や症状には子ども本人だけではなく、保護者や家族の状況やその他の環境など様々な要件が重なり合っていることが多く、診断や支援にはそれらを総合的に理解することが必要であることなど、発達障害のある子どもたちも含めて支援者が心掛けるべき大切なお話を伺うことができました。このような機会を設けていただき、ありがとうございました。（M・K）



令和3年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

ワーキンググループ 児童・思春期支援部会

7/26（月）、さいたま市子ども家庭総合センター多目的室で、標記の部会が会場開催されました。前任者が任期途中で退任したので、「麦」事務局のYが後任として部会に出席いたしました。当日は、「各委員の事業報告」「令和2年度ひきこもり相談センター事業報告」「令和3年度ひきこもり地域支援研修」について、話し合いました。各委員の報告では、コロナ感染防止のためオンラインを導入した活動が目立っていました。私は、「麦」と全国LD親の会の活動を紹介した後に、いじめ等がきっかけのひきこもりと発達障害の特性のひとつである感覚過敏が原因によるひきこもりでは、対処方法が異なる事を説明いたしました。どんなに良好な人間関係を構築し、トラウマを克服しても、感覚の刺激を軽減する方策を取らなければ、外出に大きな苦痛を伴うからです。ひきこもりの原因は1つではありません。それぞれ異なる経緯や事情を抱えることから、生きづらさや孤立に寄り添い、支援していくことが大切だと感じました。（H・Y）



令和3年度第1回さいたま市発達障害者支援地域協議会

8/26（木）、標題の会議がオンライン（Zoom利用）で行われました。内容は以下のとおりです。

①発達障害に関する周知・啓発活動の報告について（かかりつけ医研修、講演会）

埼玉県とさいたま市主催で、かかりつけ医等発達障害対応力向上研修が2月に動画配信によるオンラインで行われました。小児科医が6割ほど。162名が参加。

②潤いファイル使い方ガイドブックについて

潤いファイルの使い方をより分かりやすくして有効活用されるよう、使い方ガイドブックを作成します。今回は素案について意見が出されました。

③障害者差別解消法の改正について

3年以内に施行される予定。事業者による合理的配慮の提供について、努力義務から法的義務になるなどの改正についての説明がありました。（M・K）



「麦」活動報告（機関紙 2021 年6月 151 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
 - 6/22（火） 対面おしゃべり会（会場開催）
 - 8/28（土） オンラインおしゃべり会（Zoom）
 - 9/30（火） 講演会「成人期における発達障害」（さいたま市出前講座）
- 全体活動に関する活動
 - 9/22（水） 9/30 講演会講師と打合せ（Zoom）
 - 9/27（月） 9/30 講師へ書籍、資料等進呈（郵送）

<役員活動>

- 役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など） 全て Zoom 利用
 - 6/15（火）、7/12（月）、8/17（火）、9/13（火）
- おしゃべり会開催について • 講演会開催について • 来年度開催する全国 LD 親の会総会と公開フォーラムについて • 全国 LD 親の会へ派遣する理事・評議員・監査について • 今後の予定 • 外部団体、個人からの問合せへの対応について
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
 - 6/21（火） 機関紙 151 号発行・WEB 掲載
 - 6/22（水）、6/28（月） 機関紙印刷・郵送作業、 機関紙追加印刷
 - 6/27（日） メール添付不可の会員へ活動アンケート結果郵送
- ホームページの更新
 - 6/11（金）、6/21（月）、7/9（金）、7/31（土）、8/30（火）、9/2（木）、9/28（火）、9/30（木）
- 行政関連の行事
 - 5/31（月） 埼玉県発達障害総合支援センターとの話し合い
 - 7/2（金） 埼玉県立総合教育センター主催 令和 3 年度特別支援学校 5 年経験者研修へ講師派遣
 - 7/5（月） 令和 3 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（Zoom）
 - 7/26（月） さいたま市ひきこもり対策連絡協議会児童思春期支援部会
 - 8/17（火）～8/31（火） オンライン研修令和 3 年度公開講座「発達障害の基礎理解」
 - 8/26（木） 第 1 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
- その他
 - 6/15（火） 放課後等デイサービス TEENS より事業説明受ける（Zoom）
 - 6/22（火）、7/3（土） 埼玉県要望書検討会（会場）
 - 7/12（月） 埼玉県要望書検討会（Zoom）
 - 6/22（火） さいたま市要望書検討会（会場）
 - 7/1（木）、7/6（火） さいたま市要望書検討会（Zoom）
 - 7/19（月） さいたま市へ要望書提出と関係課訪問
 - 7/27（火） 埼玉県へ要望書提出（郵送）
 - 8/3（火） 公明党埼玉県議員団へ要望書提出（郵送）



<全国 LD 親の会の行事>

- 6/26（土） 全国 LD 親の会第 14 回総会 （麦は Zoom でオブザーバー参加）
- 6/27（日） 第 20 回公開フォーラム
- 6/28（月）～7/19（月） 公開フォーラムの基調講演とミニ講演をビデオ配信
- 7/11（日） 関東・東北ブロック会議

麦 INFORMATION 10月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで _mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙役員まで。

*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

*1月 全体おしゃべり会 (Zoom)

日時：1/14 (金) 10:00~12:00

※詳細は未定です。

*麦「役員会」のお知らせ

*11月役員会 (Zoom)

日時：11/15 (月) 9:15~

*12月役員会 (Zoom)

日時：12/17 (金) 9:15~

*1月役員会 (Zoom)

日時：1/14 (金) 13:00~

全国LD親の会よりお知らせ

青年の交流会 「オンラインで横浜へ」

全国LD親の会では、6月の総会・シンポジウムや秋のLD学会に併せて青年の交流会を行ってききましたが、リモート (Zoom) で青年の交流会を企画してくださいました。参加費で送られてくる横浜・神奈川のおつまみを食べながら、横浜のビデオなどを見て、リモート (Zoom) で参加してみませんか？

日時：12/11日 (土) 19:00~ 2時間程度

対象：会員の18歳以上の青年 (麦では就労グループ会員の子ども)

参加方法：Zoomによるリモート参加 参加費：2000円 (横浜・神奈川のおつまみ付き)

参加するにはゆうパケットで横浜のおつまみ詰め合わせを送ります。

申込先：NPO法人全国LD親の会 申し込み締め切り 11月30日 (火)

※全国LD親の会所属会の子ども (青年) が対象、多くの方の申し込みをお待ちしています。

※詳細は会員連絡網にてお知らせいたします。



発達に気になる子のモヤモヤ解消ヒントブック

生活の基礎づくり編 書籍のご紹介

編著者 NPO法人全国LD親の会・安住 ゆう子

全国LD親の会会員から、主に幼児期・学童期の困りごとや悩みのエピソードを集めました。

現在、子育て奮闘中の皆さんの参考になればと思います。

かもがわ出版からの購入先はこちら

<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1169.html>

原稿お礼と編集後記

*機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙10月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。

これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。 <機関紙担当一同>

*コロナ禍で落ち着かない日々が続いています。

この生活そのものには、子供も私も慣れてきたと思います。東京オリンピック、パラリンピックも無事に開催されました。感染者も減ってきて緊急事態宣言も解除されましたが、まだまだ先行きが気になりますね。麦の皆さまと麦の活動を通して一緒に乗り切っていきたいですね。 (A・Y)

